

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	JTグループ人権方針に基づく人権影響評価を実施すると共に、相談・通報制度を活用し継続的に改善を実施。																									
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	年に数回のコンプライアンス研修を必須とすると共に、相談・通報窓口を開設し相談体制を整備、ハラスメント防止のオンラインセミナーを実施。																									
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	勤務実績の記録に基づき、個人、組織単位で長時間労働が多い場合には是正を促す制度が確立し、機能している。																									
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	差別等を禁じた行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																									
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	中期目標に「ゼロ労災」を掲げ取り組んでいる。労働基準法に基づく安全衛生委員会の開催を行い、労使間で改善が必要と認められた場合は、速やかに実施。										8							17								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	全従業員が年に1回はストレスチェックの診断を受け、是正が必要な場合は産業医との面談等の対策を実施。																									
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	「なでしこ銘柄」に選定および「プラチナくるみん認定」取得。「PRIDE」指標においてゴールド獲得。障害者の法定雇用率以上の雇用を維持。女性活躍推進の取り組みも研修等を適宜開催。																									
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	中期目標に「選ばれる企業」を掲げ取り組んでいる。On the Job Trainingの機会のみならず、社外研修や、年間を通じて自由に受講できる研修制度があり、活用されている。											8						17								
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	JTグループが社会とともに持続的に成長していくために優先的に取り組むマテリアリティ(重要課題)の一つに、「職場における公正と多様性」を設定し、適切に対応している。																									
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2019 ホワイト500」を3年連続で獲得し、取り組みを継続している。																8	17								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	3Rを基本原則として廃棄物発生量の削減とリサイクル率の向上に取り組んでいる。2030年に向けては主力のたばこ事業にて廃棄物発生量を2015年比20%削減する計画。加えて製品・容器包装に使用する資源(プラスチックを含む)の活用により方につき見直しを行っている。													11	12	13	14	15	17							
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	国内外に立地するグループ内全拠点(工場、事業所)のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握。																	13	17							
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	国内外に立地するグループ内全拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を把握。パリ協定に準じ2030年までに自社GHGを2015年比32%削減する目標を設定(SBT取得済)。省エネ推進・再エネ活用により達成を目指す。全体としての気候変動取り組みについては国際NGOであるCDPより最高評価であるAリストに選定(2019年度調査)																7				17					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	事業活動で使用する化学物質について、22の関係法令に対応した「化学物質管理ガイドライン」を定め、適正管理を実施。																			11	12					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	主原料である葉たばこ生産地において現地政府・農家と取り組みを推進(生産地における生物多様性評価・森林保全等)。また現地における森林伐採は生物多様性や生態系に影響を及ぼすと考え、持続可能な森林管理を強化するため、森林破壊・劣化の要因を特定し、木材資源利用の改善、森林保護・保全に向けた取り組みを検討中。																			12	13	15	17			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	3Rを基本原則として廃棄物発生量の削減とリサイクル率の向上に取り組んでいる。2030年に向けては主力のたばこ事業にて廃棄物発生量を2015年比20%削減する計画。加えて製品・容器包装に使用する資源(プラスチックを含む)の活用により方につき見直しを行っている。																				11	12	13	14	15	17
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	取水量について国内外の全拠点を対象に集約。主力のたばこ事業を対象に2030年までに取水量を2015年比15%削減する目標を設定。また全生産拠点を対象に「水リスク調査」を実施し、事業における水使用のあり方が地域社会に影響を与えず、持続可能な姿になっているかを確認している(自然災害リスクへのレジリエンスも調査の対象)。水全般の取り組みに関し国際NGOであるCDPより最高評価であるAリストに選定(2019年度調査)																					11	12	13		

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築している。生産系事業所ではISO14001認証取得を基本とし、支社、研究所、物流拠点などの非生産系事業所ではISO14001に準拠した独自の環境マネジメントシステムを構築している。												12											
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	これまで、サステナビリティレポートやWEBでの開示を実施。20年度より統合報告書及びWEBにて開示。国際NGOであるCDPからの質問票等においても環境に係る考え方・取り組みを開示している(CDPでは気候変動と水セキュリティの双方で最高評価Aリストに選出)。													12										17
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光パネル等再生設備の導入やグリーン電力の購入を推進。2030年までに事業活動で使用する電力の25%、2050年までに100%を再生可能エネルギー由来とする計画を立て、実現に向けて取り組んでいる。							7							13								17	
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	主原料である葉たばこ生産地において、現地政府・農家と協働で農業・肥料の使用量低減や森林保全を行い、現地の持続可能性に配慮した調達を推進。サプライチェーンにおける水資源管理状況の把握や森林資源保全の一層の推進に今後取り組んでいく。													11	12	13			15			17		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範にて規定しており、また行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																							
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範にて規定しており、また行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																							
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	行動規範にて規定しており、また行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	行動規範にて規定しており、また行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																							
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物については、現在その対応を検討中 ※リスク低減製品(RRP)のリチウムバッテリーが該当と認識																							
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー行動規範にて規定しており、行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。主要サプライヤーを対象に適切にスクリーニングおよびモニタリングする体制も構築中。							8																17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品情報に関して詳細な開示および、お客様からの意見を幅広く収集する体制を構築している。																							
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客様からの意見や、科学的根拠に基づき、高品質な製品を継続して生み出す体制を構築している。																							
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	例えば、責任あるリサイクルと廃棄に向けての取り組みとして、リチウムイオンバッテリー使用の加熱式たばこデバイスの回収を実施している。			3									11	12					15			17		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品は、お客様にとっても、社会にとっても有益であると考え、当該製品を開発し、販売している。			3				8		10	11	12	13		15	16	17							

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	水リスク調査等地域への影響評価を実施。その他、葉たばこ産地における森林保全活動等を実施している。																										
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	2015年から2030年の間に、600億円の投資を行い、従業員が30万時間のボランティア活動に従事することをKPIとして、地域社会への貢献に取り組んでいる。																										
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	「Rethink Creator Project」に協賛し、クリエイターの地産地消に向けて取り組んでいる。																										
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念及び経営目標については、イントラ等を用いて社内へ共有している。																										
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	行動規範にて規定しており、また行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。																										
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	2019年より、サステナビリティマネジメント部を設立し、サステナビリティマネジメント担当執行役員の下、グループのサステナビリティに取り組んでいる。																										
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	マテリアリティ(重点課題)を、従業員、サプライヤー、投資家、労働組合、非政府組織(NGO)、業界団体など社内外ステークホルダーとのエンゲージメントを通じて設定している。																										
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	サステナビリティマネジメント部に専門部署(リスクマネジメントチーム)を設立し、グループ全体のリスクマネジメントに取り組んでいる。																										
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	2019年より、サステナビリティマネジメント部を設立し、サステナビリティマネジメント担当執行役員の下、グループのサステナビリティに取り組んでいる。																										
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	危機管理及び災害対策については、対応マニュアルを定め、的確な初動対応をとれる体制を整えている。																										
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	取締役会会長および独立社外取締役で構成された人事・報酬諮問委員会において、経営幹部候補生群の成長支援、取締役・監査役候補者の選定を行っている。																											

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権の尊重に関する取り組み：たばこ葉に関する耕作労働規範の導入	全ての葉たばこの直接契約農家を対象に「児童労働の防止・撲滅」「労働者の権利の尊重」「安全衛生」に関する事項を制定すると共に、労働慣行								8									17	
人権の尊重に関する取り組み：ARISE（児童労働撲滅に向けたプログラムの実施）	2019年にILOおよびNGOの協力をもち、児童労働撲滅プログラムを開発。子供たちの学校教育の支援、コミュニティー住民への啓発、政策・経立案関係当局との対話を進め違法なたばこ製品の製造及び流通等に関する情報交換を行い、不法取引の減少に対する取り組みを支援すること数億ドル。							8										17	
地域社会・地域経済への貢献：たばこの不法取引の撲滅に向けた取り組み																		16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）